

**10月11日**  
20年のあゆみとこれから  
町消費者協会20周年記念会が開催



町消費者協会(館忠良会長)の設立20周年記念会が10月11日、町公民館講堂で行われました。平成10年の創立当時は会員数156人と町村のなかで一二を争うほどだった同協会。会員の高齢化や共働き世代の増加により会員数を減らしながらも、現在も悪徳商法やオレオレ詐欺などから消費者を守るために毎年講演会を開くなど、精力的に活動しています。館会長は「消費者の自立した生活に向け、広い視野で会員の輪を広げながら活動していきたい」と挨拶しました。

**10月8日**  
未来に繋がる森づくり  
シーニックバイウェイが植樹祭を開催



鉦路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(桐木茂雄代表)が10月8日にそらの森(弟子屈飛行場跡地)で植樹祭をおこないました。この取り組みはドライブ観光などで排出されるCO<sub>2</sub>を吸収する「カーボン・オフセット」の森づくり活動の一環として行っているもので、町内外から60人が参加。ハルニレ・ミズナラ・アカエゾマツなどの苗木約250本を協力し合いながら植樹しました。

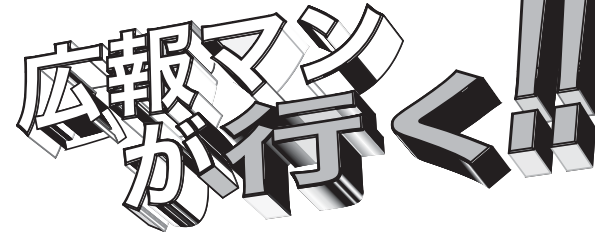
**9月23日**

親しめる行事で防火意識を高揚  
第5回かわゆしょうぼう開放日を開催



第5回かわゆしょうぼう開放日が、弟子屈消防署川湯支署・川湯消防団の主催で9月23日、川湯支署庁舎前で開催されました。10月15日～31日までに実施される秋の火災予防運動を前に、親しめる行事を通し防火意識を高めてもらうことを目的に開催。町民など100人あまりが参加しました。当日は、秋のさわやかな天気の中、はしご車への体験乗車、防火衣を着て放水体験などが行われ、川湯小学校の児童による川湯ばやしも披露されました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

**10月15日**

弟子屈の魅力を発見！  
屈斜路湖でカヌー・釣りを体験 | 弟子屈高校



弟子屈高校(宮崎円校長)で、弟子屈の魅力をj知るために行われている「弟子屈探究」の授業の一環として10月15日、同校1年生の生徒27人が屈斜路湖でカヌーと釣りの体験学習を行いました。カヌーの講師は鉦路川流域ネットワーク(土田祐也会長)から8人のガイドの方が、釣りはフライショップチニタの北林勉さんが指導にあたりました。初体験の生徒も多く、緊張しながらも、好天のもと気持ちよさそうに体験学習を楽しんでいる様子でした。

**10月14日**

日頃の消防活動の成果を披露  
弟子屈・川湯秋季合同演習を実施



鉦路北部消防事務組合・弟子屈消防団・川湯消防団・弟子屈消防署の主催による弟子屈・川湯秋季合同演習が10月14日、弟子屈消防署川湯支署前と川湯観光ホテル前で行われました。秋の火災多発期を前に、消防職員団の消防活動技術の充実強化、地域住民に対する消防力の披露、防火意識の高揚を目的に、今回は川湯地区で実施。川湯支署前で観閲式、分列行進が行われた後、川湯観光ホテルで消火・救出演習が行われました。消防職員らによる救出活動は、大型のはしご車なども使用され、実践さながらの緊張感のある演習となりました。

**9月26日**

平成31年4月の開園に向けて  
「認定こども園ましゅう」入園説明会を開催



学校法人弟子屈学園と町の主催による「幼保連携型認定こども園ましゅう」の入園説明会が9月26日、町公民館講堂で行われ、入園を希望する児童の保護者ら約100人が参加しました。認定こども園ましゅうは、平成31年4月1日に開園を予定しています。説明会では、保育園や幼稚園とこども園の違いや、来春入園する上で必要な事項についての説明が行われました。出席した保護者からもさまざまな質問があり、関心の高さがうかがえる説明会でした。

**9月23日**

ばん馬の迫力に歓声が  
摩周湖ばん馬大会を開催



第10回摩周湖ばん馬大会が摩周湖馬友の会主催(近江屋茂会長)で9月23日、摩周馬場で開催されました。ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催され、多くの来場者でにぎわいました。今年も道内各地からばん馬が集まり、馬齢や重量別の階級に分かれて白熱のレースを展開。また、中学生以下のお子さんによるポニーレースも行われたほか、ふれあいコーナーや抽選会などのイベントも用意され、来場者の皆さんは思い思いに大会を楽しみました。

**10月20日**

美しい紅葉や名木を巡る  
秋の名木ツアーを開催！



町と根釧西部森林管理署の共催で10月20日、秋の名木ツアーが行われ、町内外から18人が参加しました。今回のツアーは大人の散歩をテーマに、市街地にある名木を徒歩で巡りながら、身近にある植物や町の歴史にも触れたほか、川湯では秋になると葉が白く変色するコシアブラの観賞や火山の噴火による植生の違いも観賞しました。北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さん、高橋秀明(根釧西部森林管理署)さん両名が務めるガイドに、参加者の皆さんは興味深く聞き入り、大変好評を博しました。

**10月17日**

新そばを楽しんで  
レストラン摩周で新そばの振る舞い



レストラン摩周を経営する和田義光さんが10月17日、倅和園・特養摩周の利用者の皆さんを招き、新そばを振る舞いました。新そばの時期に行っているもので、今年で6回目。およそ40人がレストランを訪れ、おいしい新そばに舌鼓を打ちました。和田さんは「町の建物の中で、貴重な摩周そばを使わせてもらい感謝している。利用者の皆さんに喜んでもらえ、やりがいを感じている」と話しました。各施設にも生そばが贈られており、施設で調理し、来られなかった方も全員楽しむことが出来ます。

**10月7日**

ふるさとの思い出をつなぎ30年  
東京で弟子屈ふる里会記念総会を開催



首都圏に住む本町出身者やゆかりのある方々でつくる弟子屈ふる里会(平下覚会長)の第30回記念総会・ふる里まつりが10月7日、東海大学校友会館(東京都千代田区)で行われました。同会には160人の会員が所属し、年に1度総会を開催。当日は31人が参加し、横綱大鵬の故納谷幸喜さんの孫で大嶽部屋所属の納谷幸之介さんも参加。徳永町長や八幡議長らも出席し、町長からは現在の町政を報告。会員の皆さんは久しぶりの再会を喜び、思い出話で歓談。ふるさと納税のPRや町の特産品が当たる抽選会なども行われ、大いに盛り上がりました。

**9月30日**

笑顔でふれあい交流するきっかけの場  
第8回ふれあい祭りが開催



同実行委員会主催による第8回ふれあい祭り2018が9月30日、町社会老人福祉センターで行われました。障がいのある人も、ない人も、お年寄りも、赤ちゃんもみんなで支え合いながら生活できるまちづくりのきっかけの場として開催されているもの。飲食のブースや点字のブースなど、町内外からの出店のほか、手話コーラスや川湯ばやしなどのステージ発表も行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。